



2011 ~ 2012 年度  
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	亀井 孝	理事	近藤 賢司	役員	会 長	亀井 孝	S A A	木村きぬゑ
◇	高宮 勝美	◇	平野 英壽	副会長	高宮 勝美	直前会長	木村きぬゑ	
◇	森 宗明	◇	津末美代子	幹 事	森園 伸也			
◇	村津 忠久			会 計	河村 貴雄			

VOL. 24 -29  
2012 年 2 月 7 日

## 第 1083 回 例 会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12 : 30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆国 歌 君が代
- ◆R S 奉仕の理想
- ◆唱 歌 雪山讃歌
- ◆B. G. M ショパンの革命のエチュード
- ◆ビジター 萩尾 憲司 (別府北RC)  
笠木 隆弘 (別府東RC)

### ◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	24 名	
	出 席 者	17 名	
	事前メイクアップ	0 名	
	理 事 会 承 認	1 名	
	出 席 免 除	1 名	
	欠 席 数	5 名	
	出 席 率	73.91 %	
	前 々 回 の 訂 正	出 席 率	83.33 %
		事後メイクアップ	2 名
		理 事 会 承 認	1 名
1/24	出 席 免 除	0 名	
	修 正 出 席 率	91.67 %	
	連 続	- 回	
	通 算	743 回 100 %	

### 会長の時間 会長 亀井 孝

今日 2 月 7 日は、日本政府が 1981 年に制定した「北方領土の日」です。江戸時代から日本は北方領土の開発、経営を行っており、1854 年（安政元年）には日露和親条約により日本の領土として認められていました。しかしその後の条約や日露戦争により日本領土は変化し、第二次大戦の敗戦により北方領土までも占領され、その状態が現在まで続いています。私達やそれ以前の年代には極めて重要な外交問題として心にありますが、若い年代には興味が薄いようです。尖閣諸島しかり、竹島問題しかり。他国にまで心配されるほど政府は外交問題に及び腰ですし、報道もあまりなされません。「あげちゃえば」などという発言すら聞こえてくる昨今、問題は「島」だけではなく、天然資源、漁場、歴史問題等にまで及ぶことをわかっていのでしょうか。平和ボケも大概にしなければなりません。

### ・メイクアップ

事前  
事後 大島 (大分)、近藤 (日出)  
欠席 平野(英)、堀、梶原、河村、中尾  
理事会承認 梶田  
出席免除 溝部

### 幹事報告 幹事 森園 伸也

#### —世界理解月間—

1. 本日の卓話  
「鶴見岳一気登山はじめのこぼれ話」  
村津 忠久 会員



2. 「R I 第2720地区菊池ロータリークラブ創立40周年記念式典」のご案内  
日 時 平成24年4月8日(日)

13:00~受付/14:00~点鐘

15:20~記念講演/16:30~祝賀会

記念講演 講師:木下光一(パストガバナー)

場 所 菊池笹乃家 Tel.0968-25-0171

登録料 会員10,000円 ご同伴8,000円

※登録申込み・詳細は幹事または事務局まで  
お願いします。

3. 本日、例会終了後、「第8回定例理事・役員会」を開催致します。

4. 委員会報告  
ロータリー探究:No.338「例会出席の意義」  
鳴海淳郎R情報委員長より

5. お祝い  
会員誕生日 村津忠久会員(2月10日)  
※ご自宅に記念品が届きます。  
結婚記念日 岐部光男会員(2月12日)  
※ご自宅にお花が届きます。

6. 例会変更のお知らせ  
別府東RC 2月9日(木)の例会は、釜山釜星RCとの姉妹クラブ締結調印式の為、2月10日(金)18:30~ホテルサンバリーアネックスに日時・場所変更  
大分RC 2月14日(火)の例会は、夜間例会の為 同日18:30~大分全日空ホテルオアシスタワーに時間・場所変更

7. 次週例会の予定  
「会員卓話」木村きぬゑ会員  
「会員コラム」大島由美子会員  
\*原稿をお願い致します。

8. 本日の回覧  
①くにさきRC 週報  
②別府市総合教員センター通信 No.28  
③「2012-2013年度版 ロータリー手帳」購入希望  
④「別府4RC合同例会」出・欠席(2月21日)

- ⑤「第3回クラブ協議会」出・欠席(2月28日)  
⑥「もみじ谷植樹作業」出・欠席(3月18日)

9. 本日の配布  
①週報 No.1082  
②ガバナー月信No.8  
③ロータリーの友2月号  
④べっぴん鶴見岳一気登山25周年記念誌

スマイルボックス 副委員長 平野 教康

- 高宮会員  
大島さん、「高円宮」根付コレクション展、盛会で良かったですね。あの様なイベントが多く欲しいですね。
- 鳴海会員  
もう少し出席率の良くなることを祈念してスマイル致します。
- 大島会員  
先日は高円宮家根付コレクションのご講演、レセプションパーティー又は展示会へお越しいただきありがとうございます。大盛況にて終了いたしました。皆様に感謝してスマイル。
- 森会員  
イシカワ・ニシコリ・イチロー等々、どの選手も小さい頃からの今の姿を目指して来たのだそうで、小さい頃の作文にはっきり書いていたようです。よしそれなら遅ればせながら私は十年後の私を思い描いて文字に残そう。ただし、こっそりと…。思わない夢は叶わない!!
- 衛藤会員  
今日は萩尾様、笠木様、ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりなさって下さい。
- 村津会員  
今日は83歳の誕生祝い、ありがとうございます。酒は百薬の長と申しますから、お祝いに頂いたお酒をしっかり飲んで、足腰がもう少しシャッキリとなるよう頑張ります。お礼のスマイル。
- 平野(教)会員  
1月、会社の売上げきびしかったけど、今日皆様のお顔を拝見し、2月は3倍頑張ろう! 萩尾様、笠木様ようこそ。別府中央ロータリーへ。大島姉さんの顔が見れてスマイル。

「鶴見岳一気登山はじめのこぼれ話」

今日、皆様にお配りした「一気登山25周年記念誌」の8頁から11頁まで、その誕生の経緯を記しておりますが、ここに至るまでの伏線がいくつかあります。

その一つは後藤敏雄氏存在でした。

一昨日、2月5日(日)、第61回別大毎日マラソンが行われましたが、このマラソン競技を別府に誘致した功労者の一番は後藤敏雄氏です。

彼は当時別府タワーの専務でした。別府タワーの親会社「富士車輛」から経営の責を負わされていたタワーのトップでした。

彼の前職は、大阪毎日新聞社の運動部長です。タワーの昔の社員集合写真を見ると前列中央に角力取りのような大男が、デン、と構えておりますが、その方が、元学生横綱の後藤氏です。

大阪毎日・運動部長時代の人脈で「毎日マラソン」の別府誘致を成功させたわけです。

それだけではありません。

当時は「東京オリンピック」(昭和39年)直前の時期で、選手の強化に、どの競技部門も必死の時でした。

後藤氏の根まわしで、陸上短距離と跳躍部門、そして水上の一部の強化合宿地に別府が指定さ

れ、約3年間、オリンピック候補選手とコーチの先生方が、別府に長期滞在となりました。後にタレントになった木原美知子さんがまだ中学生で将来を囑望されていた頃です。

お陰で、私の店「すしかず」にもコーチの先生方がよくお見えになりました。

織田幹雄、田島直人、南部忠平、かつてのゴールドメダリストから古田康治、黒佐年明氏等、多くの先生方に最厚にいただきました。

この先生方に憑憑されて実行したのが、「25周年記念誌・企画の発端」で述べさせていただいた「海拔零メートルからの拘り登山」です。



「私と中国と月面霊園構想」

私の仕事は、お墓と仏壇・仏具を販売しています。元々は、石材店に原石や石像を卸してましたから、その関係で中国に行くことも多く、初めて訪中したのは、十数年前の事になります。その当時の我々の業界は、まだ国産の石が主流でしたから、どの石材店も、中国に対しては、興味はあるのですが、「まだまだ」という感が強く、中国の石は、敬遠がちでしたね。

その頃の中国といえば、飛行機で“快適な旅の友”のはずのスチュワーデスに、笑顔はありません。(笑) 制服も緑っぱい軍服のような感じで、“旅

の友”というよりは、旅人の管理をすると言った感じでしたね。

でも、そんな事は、「大事」では、なかったのです。飛行機が「来れば良し」としなくてはならない時代で、出発時間も到着時間も当てにはならず、空港で何時間も待つのは、当たり前だったのです。日本では、あり得ないことですよ。

北京や上海の大都会では、すでに、高速道路の整備と高層ビル建設のラッシュで、朝夕の通勤時間帯では、日本では見たこともない数の、自転車の行列でした。自動車やバイクの数も少なく、町の移動は、「輪タク」と言って、人力で走る自転車のタクシーが主流だったのです。

当時の私の仕事は主に、お墓になる上質の御影



石の検品ですから、そんな大都会を離れ、飛行機を乗り継ぎ、長い時間、列車に乗って、その後は、古いジープに揺られ、深い、深い山の中に入って行くのです。

当時は、私たちのような外国人には、中国政府から「経済特区以外の住民の前では、ビデオカメラや携帯電話などのようなハイテク機器は、見せないように」という注意事項もありました。やっと、電気が普及したという村人には、私たちが宇宙人に見えるようで、現在では、その村の人たちが、日本の買い物ツアーで高価な電気製品等を買っている姿を見るのは、すこし不思議で滑稽な気がします。

当時の、日本の商社の中では、「中国との仕事は、もう懲り懲りだ。」という言葉も、多く聞きましたよ。商談は、まとまったが、肝心の品物が違っていたり、来なかったりと、クレームが山積していたからね。日本人の感覚から言えば、契約は、守るものであり、中国商社は、契約は破るものである。と少し皮肉めいた言葉も聞える時代でもありました。日本の常識は、日本だけの常識なんだと、文化の違いに戸惑うことが、多かったのも事実です。

でも、私は、当時の中国人の言葉の中で、大切にしているモノがあります。どんな事も「出来ます」と、けっして、最初から諦めなかったし、相手の要望する事は、とりあえず受け入れ、それから、最大限に努力をして、最終的には完成させるのです。ただし日本に流れている時間とは若干の違いはありました。(笑) というのも「私が出来なかった事は、私の子供たちがやるでしょう。もし、私の子供が出来ない時は、孫が成し遂げるでしょう。」と本気で言っていました。「それでは、仕事を依頼した私は、もう、この世にはいないでしょう。」と冗談を返していましたが、でも、どうでしょう？最初から「出来ない」と彼らが言っていたなら、「現在の中国は、あったのでしょうか？」出来ないことが恥ずかしいのではなく、「きっと自分たちならば出来る」と信じていたからこそ、この経済発展につながり、ついには、GNPでも日本を抜き、益々、その勢いは増しているのです。

私が、そんな会話をしたのは、まだ、20年にも満たない中国人との会話です。13億とも15億ともいわれる国民が、そう願って努力した結果なの

です。出来ない事を出来ると言うことは、考えものですが、「出来ない事を、どうすれば、解決出来るだろう？」その精神を、私は大切にしています。社内で話し合い、専門知識が必要ならば、仲間の力を借りて、お客様の気持ちになって、仕事に取り組むようにしています。

たとえば、ペットを家族同様とお考えになるお客様が、ペットの遺骨を、お墓の中に入れようとしたら、お寺様は、「人骨と動物の骨を一緒に入れることは、人間界と畜生界を、一緒にすること」というのです。でも、「私たち家族にとっては、家族同然なのです。」その言葉を聞いた私は、お墓の横のベンチを改造して、お墓の本体の横に、ペットのお墓を設けたところ・・・とても、お喜びになり、現在では、当社だけではなく、日本中に認知され、「WITHペット」という商品名で販売している石材店もあるのです。そのお寺様も、最近では「ペットは、家族より心の支えになる。」と言っているそうです。(笑)

このような事例は、他にもたくさんあるのですが、最近、真剣に考えているのは「月面霊園構想」です。私は今、お月様に霊園をつくりたいと考えています。他の星だと、この地球からお参りするには、あまりに小さ過ぎて手を合わせづらい。太陽だと、まぶしくて目のためには、あまり良くないので、昔から神秘的に光を放ち、この地球の生命体を見守り続けてきた月が、丁度良いと考えています。

もちろん、月には周期があり、毎日、お月様は出ないので、出た時には、その分の有り難身がある・・・

「ほら、そろそろ、お月様が出るから、お爺ちゃん・お婆ちゃんに、皆で手を合わせましょう。」という、温かい家族の姿を夢んでいます。

私と、ご縁を頂いた皆様には、この計画が、可能になり次第、最優先で申し込みが出来るように、すでに、申込書だけは、作成致しております。随時受け付けておりますが、この約束は、私の時代に出来ない時は、後継者に、そして、後継者の時代に出来なかった時は、また、その後継者に引き継ぎたいと考えています。(笑)

今回は、大島由美子会員です。